

## 新型コロナウイルスワクチン接種に関する緊急要望

新型コロナウイルス感染の拡大により、このたび北海道が緊急事態宣言の対象となりました。こうしたなか、今まで以上の感染予防対策の実施や医療提供体制の拡充とともに、何よりも苫小牧市民への円滑なワクチン接種を進めることが重要と考える。コロナワクチンの接種は、今までにない国民的事業であり、希望する全ての苫小牧市民が接種対象であり、万全の準備が必要と考える。ついては、苫小牧市におけるワクチン接種の体制整備について、下記のとおり緊急要望するものである。

### 記

- (1) 苫小牧市では、とまこまいワクチンコールセンターを設置して予約や接種についての質問に対応していますが、電話が繋がらないという苦情を数多く頂いている。更なる回線の拡大や交換手の増員を行い対応されたい。  
また自動音声で予約ができるロボットコールセンターがあります。導入した福岡県糸島市では自動音声で100回線の活用で円滑な予約受付を実施しています。これらを活用してスムーズな予約体制を速やかに構築すること
- (2) かかりつけ医も接種場所の対象となっているが、電話が繋がらない、予約ができないなどスムーズな受付体制になっていないとの声も多く頂いている。また病院によっては予約できる条件が違うなど、混乱しています。予約については一定の条件にして予約受付ができるように医師会を通じて徹底すること
- (3) オンライン予約は手続きができない方のためにサポートセンターを設置して対応を図ること
- (4) ワクチン接種体制確保事業など国の交付金を活用して、市が設置したコールセンターをフリーダイヤルにして市民負担を軽減すること
- (5) 保健センターの巡回車ハスカップ号を活用した訪問先での接種については具体的な計画をもって推進し、関係機関に周知すること
- (6) 自力で接種会場に赴くことが困難な接種希望者等のため、移動のためのタクシーの活用など、必要な支援策を検討し実施すること。また、必要な場合は、訪問診療などを活用し訪問による接種も検討すること

- (7) ワクチン接種に欠席者が出た場合、ワクチンが無駄にならないように予備的に接種する方を指定するなど対策を講じること
- (8) 今後、高齢者の優先接種と基礎疾患を有する者への優先接種が並行して行なわれることも想定される。国から示されている「先行予約期間」の設定を適切に行うとともにこの期間においては、障がい者の方々等へのきめ細かな配慮と、速やかな予約につながるよう特段の取り組みを行うこと
- (9) 視覚・聴覚障害、発語障害、精神疾患などのある接種希望者に対しては、事前の情報提供の充実と接種会場での円滑な接種に必要な手話通訳や筆談ボードなどの合理的配慮を十分に講じること

以上